

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 新潟大学教育学部附属幼稚園 (※正式名称を記載)  
種 別 ☒ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他 (例: 小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む  
所在地 〒940-8530  
新潟県長岡市学校町1-1-1  
E-mail kinder@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp  
Website http://www.ed.niigata-u.ac.jp/kinder/  
幼児児童生徒数 男子 26 名 女子 28 名 合計 54 名  
幼児・児童・生徒の年齢 3 歳 ~ 6 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

### (1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「友達いっぱい夢いっぱい元気で遊ぶ附属の子」を教育目標として、ESD をグローバル化に対応した人材育成を目指す幼小中一貫教育プログラムの開発・実践と捉えた。そして、ESD の実践を通して、幼児期に育みたい資質・能力の育成を目標とした。

具体的には、身の回りの環境（自然物）とかかわった遊び、自然に親しむ活動や行事、廃材を使った製作などがある。また、異文化交流・連携として北京師範大学南奥学校との保育交流も行った。

#### ①身の回りの環境（自然物）とかかわった遊び

自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに直接、触れる体験を通して、幼児の心が安らぎ、豊かな感情、好奇心、思考力の基礎が培われることを踏まえ、日々の保育の中で、自然をはじめとした、身近な環境「ひと・もの・こと」に自ら関わることができるような環境を構成し、活動している。

具体的には、園庭にある自然豊かな園庭の植物（シロツメクサ・オオバコ・アップルミントなど）を活用した遊びや、様々な素材の感触を楽しむ砂遊びや泥遊び、園庭での虫取りや捕まえた虫の世話、発達段階に応じた水遊びをしている。

## ②自然に親しむ活動や行事

幼稚園で行われる日々の保育以外にも、自然に触れ、四季の変化を感じること、自然の中から発見することを大切に、自然や生き物にかかわる活動や行事を実施している。

季節の自然を探しに近くの山や公園へ行っている。年長児は園庭の桜を集め、桜茶を作った。花摘みから、塩漬けまでし、卒園式に保護者や来賓に桜茶を振る舞った。また、園庭にある梅の木から梅を取り、梅ジュースや梅ゼリーを作って食べた。

初めての試みとして、今年度9月に「もりのなかよしタイム」で、園庭で歌を歌ったり、ダンスをしたりして保護者の方に一緒に参加してもらう機会を設けた。また、冬には園庭での雪遊びも行っている。

## ③廃材を使った製作

自分の思いやイメージを膨らませながら、身近な素材に興味をもってかかわる。素材の特性に触れ、考えたり、試したりしながら、自分の遊びのイメージに近づけようと工夫して遊んでいる。

## ④異文化交流・連携

北京師範大学南奥学校との連携で、保育交流を行った。南奥学校の先生が、「カンフー遊び」で子どもたちと体を動かしたり、「紙（トランプ）をどうしたら立てられるか？」といった問いかけで、公開保育を実施した。



### ①自然豊かな園庭の植物を活用した遊び

### ①様々な素材の感触を楽しむ砂遊びや泥遊び



### ①保育室で飼っている金魚や外で捕まえた虫や生き物の世話 発達段階に応じた水遊び



### ②遠足

### ②もりのなかよしタイム



②園庭の桜を使つての桜茶づくり



②園庭での雪遊び



③お友達とケーキ作り



③ダンボールで作った魚釣り



③ダンボールで作った太鼓！みんなで合奏



④北京師範大学南奥学校との交流（カンフー・トランプ立て）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

■ 1. 環境	□ 2. エネルギー	□ 3. 防災	■ 4. 生物多様性
□ 5. 気候変動	■ 6. 国際理解、文化多様性	□ 7. 地域の伝統文化、文化遺産	□ 8. 人権・平和
□ 9. 健康・福祉	■ 10. 食育	□ 11. 持続可能な生産と消費	□ 12. 貧困
□ 13. エコパーク	□ 14. ジオパーク	□ 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
□ 16. ジェンダー平等	□ 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 全保育の時間 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

幼児教育において育みたい資質・能力を指導計画に位置付けたことにより、各発達段階における子どもの資質、能力の表出を見取りやすくなった。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

遊びや環境、様々な経験を通して、自分で学びとっていくことを重視する教育活動を行うため、年間指導計画を作成し、PDCAサイクルで実施・評価・改善を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

毎年 2 回、保護者に学校評価アンケートを実施。結果を集計、報告している。ユネスコスクールに関わりのあるところとしては、成果は、園庭を整備し、子ども達が緑や環境、異文化に触れる環境を作った。課題としては、防災教育の充実が上げられる。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200 字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

毎日の保育の様子を、ホームページで発信している。保護者や入園を考えている人から、園の様子が大変よくわかるという感想をもらっている。これからの社会を切り開くために必要な資質・能力のはぐくみを指導計画に位置付け保育実践を行い、子どもの育ちを見取り、価値付けることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)  
(200 字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

花を植える活動をしている「ソロプチミスト」の方から、幼稚園脇の花壇の整備を行っていただき、その後、子ども達とプランターに花を植えるなどし、園舎が緑や花でいっぱいとなるような活動を行った。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200 字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

緑豊かな園庭には、たくさんの木や花が植えられており、その木や花の日本語と中国語の名前が書かれている看板を保護者ボランティアの協力を得て設置した。中国との交流が、その日だけで終わるのではなく、子ども達が看板を見て、自然に親しんだり、中国語を通して異文化を感じ取れるような環境を設置した。

- （3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

本園の重点目標「自分の思いをのびのびと表しながら、遊びを創り出す子ども」を目指し、引き続き遊びや環境、様々な経験を通して、自分で学びとっていくことを重視する教育活動を展開していく。ESDに関連した内容としては、地域貢献・地域との連携としては、未就園児への園開放や預かり保育を継続し、充実を図っていく。